

生命科学科教育学修プログラム

令和2年度前期

1年次

【米子地区授業時間】

1時限	: 8:40 ~ 10:10
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:50 ~ 16:20
5時限	: 16:40 ~ 18:10

【鳥取地区授業時間】

1時限	: 8:45 ~ 10:15
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:45 ~ 16:15
5時限	: 16:30 ~ 18:00

令和2年度前期 生命科学科授業時間配当表

1年次

	前 期									
	前半(8)					後半(8)				
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
1	コミュニケーション英語B	自然分野(物理学)	キャリア入門	教養科目/主題科目(医学と生命科学)	コミュニケーション英語A	コミュニケーション英語B	自然分野(物理学)	キャリア入門	教養科目/主題科目(医学と生命科学)	コミュニケーション英語A
2	教養科目(人文/社会)/自然分野(化学)	教養科目(人文/社会)/自然分野(化学)	教養科目(人文/社会)/自然分野(化学)	健康スポーツ科学実技	情報リテラシ	教養科目(人文/社会)/自然分野(化学)	教養科目(人文/社会)/自然分野(化学)	教養科目(人文/社会)/自然分野(化学)	健康スポーツ科学実技	情報リテラシ
3	人体の構造と機能	主題科目(発達心理学)		健康と生体情報	自然分野(生物学)	人体の構造と機能	主題科目(発達心理学)		健康と生体情報	自然分野(生物学)
4	人間発達と健康論	外国語独/仏/中/韓		自然分野(数学)		人間発達と健康論	外国語独/仏/中/韓		自然分野(数学)	
5			教養科目	教養科目				教養科目	教養科目	

2年次

	前 期									
	前半(8)					後半(8)				
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
1	病気と病理					病気と病理			社会環境医学	
2	基幹:保健統計学		分子生物学概論	遺伝子ベクター理論	病気と微生物	基幹:保健統計学	病態生化学概論	コミュニケーション法	社会環境医学	病気と微生物
3		生命科学概論Ⅱ	細胞工学	基礎神経科学	生命科学基礎実習		生命科学概論Ⅱ	細胞工学	基礎神経科学	
4	基礎腫瘍学	総合英語Ⅰ	医学英語Ⅰ	構造生物学ハイインフォマティクス	生命科学基礎実習	基礎腫瘍学	総合英語Ⅰ	医学英語Ⅰ	構造生物学ハイインフォマティクス	
5										

3年次

	前 期									
	前半(8)					後半(8)				
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
1	環境衛生学	遺伝子制御学	内科学概論	特別講義Ⅲ	周産期医学	環境衛生学	遺伝子制御学	内科学概論	特別講義Ⅳ	心の病
2	神経科学セミナー	神経生物学実習	人類遺伝学	分子生物学セミナー	染色体医工学		神経生物学実習	人類遺伝学	細胞工学セミナー	染色体医工学
3	神経生物学実習	分子生物学実習	分子生物学実習	外科学概論	細胞工学実習	神経生物学実習	分子生物学実習	分子生物学実習	外科学概論	細胞工学実習
4	神経生物学実習	分子生物学実習	細胞工学実習	バイオ技術	細胞工学実習	神経生物学実習	分子生物学実習	細胞工学実習	老年医学	細胞工学実習
5										

4年次

	前 期									
	前半(8)					後半(8)				
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
1	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究
2	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究
3	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究
4	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究	生命科学科特別研究
5										

※配当表のとおり実施できない科目がありますので、シラバスを確認すること。

※5限目等で補講を行う。休講補講等の通知は掲示板で行うので確認すること。



:医と生命科学科の合同講義

:生命科学科と看護学と検査技術科学専攻の合同講義

:生命科学科と検査技術科学専攻の合同講義

令和2年度 学年暦七曜表

(鳥取地区)

前 期						
	日	月	火	水	木	金
4月				1	2	3
	5	6	7	8	9	10
	12	13	14	15	16	17
	19	20	21	22	23	24
5月	26	27	28	29	30	
					1	2
	3	4	5	6	7	8
	10	11	12	13	14	15
6月	17	18	19	20	21	22
	24	25	26	27	28	29
	31					
		1	2	3	4	5
7月	7	8	9	10	11	12
	14	15	16	17	18	19
	21	22	23	24	25	26
	28	29	30			
8月				1	2	3
	5	6	7	8	9	10
	12	13	14	15	16	17
	19	20	21	22	23	24
9月	26	27	28	29	30	31

後 期						
	日	月	火	水	木	金
10月					1	2
	4	5	6	7	8	9
	11	12	13	14	15	16
	18	19	20	21	22	23
11月	25	26	27	28	29	30
12月						
1月						
2月						
3月						

前期セメスター授業期間(4/22～8/31)

後期セメスター授業期間(10/1～2/5)

第1Q(4/22～6/24)

第2Q(6/25～8/31)

第3Q(10/1～11/30)

第4Q(12/1～2/5)

振替授業日

予備日(予備日は、気象警報の発令等により休講となった授業等の実施にあてる。)

【令和2年度試験期間:参考】

学期	試験期間	対象科目
前期	6月17日(水)～6月23日(火)	第1Q科目
	8月24日(月)～8月28日(金)	前期セメスター科目・第2Q科目
後期	11月20日(金)～11月27日(金)	第3Q科目
	1月29日(金)～2月4日(木)	後期セメスター科目・第4Q科目

生命科学科1年次目次

前期

	区分	授業科目名	
必修	入門	大学入門ゼミ	…… 学シス参照
必修	入門	情報リテラシ	…… 学シス参照
必修	入門	キャリア入門	…… 学シス参照
必修	外国語	コミュニケーション英語A	…… 学シス参照
必修	外国語	コミュニケーション英語B	…… 学シス参照
	外国語	ドイツ語基礎 I	…… 学シス参照
選必	外国語	フランス語基礎 I	…… 学シス参照
	外国語	中国語基礎 I	…… 学シス参照
	外国語	韓国語基礎 I	…… 学シス参照
必修	健康スポーツ	健康スポーツ科学実技	…… 学シス参照
選必	専門科目	人体の構造と機能	…… 1
選必	専門科目	人間発達と健康論	…… 2
選必	専門科目	健康と生体情報	…… 3

※選択科目:選択、選択必修科目:選必、必修科目:必修は令和2年度入学者を基準としています。

※選択科目については、上記に記載していませんので、注意してください。

※主題、基幹(人文・社会分野)から卒業までに15単位以上修得してください。

※1年次で哲学・倫理学、心理学、芸術入門、文学から4単位以上修得してください。

※1年次で憲法学、政治学、経済学、歴史学から4単位以上修得してください。

※1年次で基幹(自然分野)の数学、物理学、化学、生物学の教科区分から6単位以上修得してください。

※1年次で基幹(実験演習分野)から2単位以上修得してください。

※選必の外国語は前期と後期で同じ言語を修得してください。

※専門科目については、課程表を確認してください。

※学シス参照は、学務支援システムのシラバスを参照してください。

授業のレベルについて

1: 入門及び初級レベル

2: 中級レベル(基礎科目)

3: 中級～上級レベル(応用科目)

4: 上級レベル(発展科目)

5: 大学院レベル

人体の構造と機能

到達目標:医学の基盤として人体の構造について、講義を通して理解する。

科目責任者(所属):森 徹自(生体制御学)

連絡先: E-mail mori-te@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業方法	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/27(月)	3		・パターン3遠隔授業(リアルタイム学習)	解剖学概論	森 徹自	生体制御学	解剖学とは何かを理解する。	解剖学、組織学
2	5/11(月)	3		・パターン3遠隔授業(リアルタイム学習)	運動器系1	森 徹自	生体制御学	からだの支持と運動を理解する。	骨、関節、運動
3	5/18(月)	3		・パターン3遠隔授業(リアルタイム学習)	運動器系2	森 徹自	生体制御学	からだの支持と運動を理解する。	骨格筋、運動
4	5/25(月)	3		・パターン3遠隔授業(リアルタイム学習)	循環器系1	森 徹自	生体制御学	脈管系の構造と機能を理解する。	心臓、動脈、静脈
5	5/28(木)	3		・パターン3遠隔授業(リアルタイム学習)	循環器系2	森 徹自	生体制御学	脈管系の構造と機能を理解する。	リンパ管、リンパ節、胸腺、脾臓、扁桃、免疫
6	6/8(月)	3		・パターン3遠隔授業(リアルタイム学習)	消化器系1	森 徹自	生体制御学	消化管の構造と機能を理解する。	消化管
7	6/15(月)	3		・パターン3遠隔授業(リアルタイム学習)	消化器系2	森 徹自	生体制御学	消化器系実質臓器の構造と機能を理解する。	肝臓、胆嚢、膵臓
8	6/22(月)	3		・パターン3遠隔授業(リアルタイム学習)	呼吸器・泌尿器系	森 徹自	生体制御学	呼吸器系と泌尿器系の構造と機能を理解する。	喉頭、気管、肺、腎臓、尿管、膀胱、尿道
9	6/29(月)	3	-	・パターン2遠隔授業(ビデオ付きオンデマンド学習)	生殖器系	森 徹自	生体制御学	男性・女性生殖器の構造と機能を理解する。	精巣、精管、精子、卵巣、子宮、卵子
10	7/6(月)	3	-	・パターン2遠隔授業(ビデオ付きオンデマンド学習)	内分泌系	森 徹自	生体制御学	内分泌系の構造と機能を理解する。	視床下部、下垂体、副腎、甲状腺、上皮小体、松果体
11	7/13(月)	3	-	・パターン2遠隔授業(ビデオ付きオンデマンド学習)	神経系1	森 徹自	生体制御学	脳の構造と機能を理解する。	脳、脊髄
12	7/20(月)	3	-	・パターン2遠隔授業(ビデオ付きオンデマンド学習)	神経系2	森 徹自	生体制御学	末梢神経系の構造と機能を理解する。	脳脊髄神経、交感神経、副交感神経
13	7/27(月)	3	-	・パターン2遠隔授業(ビデオ付きオンデマンド学習)	神経系3	森 徹自	生体制御学	脳室系と脳血管系の構造と機能を理解する。	脳室、脳脊髄液、ウィリス動脈輪
14	8/3(月)	3	-	・パターン2遠隔授業(ビデオ付きオンデマンド学習)	神経系4	森 徹自	生体制御学	感覚受容器と情報の伝達路を理解する。	視覚、聴覚、平衡覚、味覚、伝導路
15	8/17(月)	3	-	・パターン2遠隔授業(ビデオ付きオンデマンド学習)	発生学概論	森 徹自	生体制御学	人体の発生機序を理解する。	受精、外胚葉、中胚葉、内胚葉

教育ブランドデザインとの関連:2、3、4、5

学位授与の方針との関連:1、2、3

授業のレベル:2

評価:小テストまたはレポート10% 定期試験:90%

実務経験との関連:無し

教科書:入門人体解剖学 改訂第5版 藤田 恒夫 南江堂

参考書:トートラ人体解剖生理学 原書8版 丸善出版

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

人間発達と健康論

科目到達目標:胎児から老年期までの人間の成長と発達について理解し、それに伴う健康問題について述べることができる。

科目責任者(所属):花木 啓一(母性・小児家族看護学)

連絡先:6322

回数	月日	時限	講義室	授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/27(月)	4			妊娠	鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	妊娠の成立と望まない妊娠を避ける方法が理解できる。	妊娠のメカニズム、避妊
2	5/11(月)	4			出産、育児、母子の絆形成	佐々木 くみ子	母性・小児 家族看護学	出産と育児、母子の絆形成が理解できる。	周産期、家族の形成
3	5/18(月)	4			人間発達・ライフサイクル・成育医療	花木 啓一	母性・小児 家族看護学	人間発達と医療の関係が理解できる。	成長と発達、ライフサイクル、成育医療
4	5/25(月)	4			新生児とは	花木 啓一	母性・小児 家族看護学	新生児の特徴と生理を理解できる。	周生期、外界への適応、アプガースコア
5	5/28(木)	4			乳幼児の栄養と身体発育	花木 啓一	母性・小児 家族看護学	乳幼児の身体発達とその評価方法が理解できる。	成長曲線、臓器別の発達
6	6/8(月)	4			思春期の心と身体	鈴木 康江 大島 麻美	母性・小児 家族看護学	思春期の特徴と健康問題が理解できる。	思春期、第2次性徴、ピアカウンセリング、性感染症
7	6/15(月)	4			乳幼児の運動発達	花木 啓一	母性・小児 家族看護学	乳幼児の運動機能の発達とその評価方法が理解できる。	原始反射、粗大運動発達、微細運動発達
8	6/22(月)	4			乳幼児期の心理・社会的発達	花木 啓一	母性・小児 家族看護学	乳幼児期の心理・社会的発達とその異常が理解できる。	精神発達、社会性の獲得、軽度発達障害
9	6/29(月)	4	A20 講義室	・対面授業	小児の心と身体(1)	南前 恵子	母性・小児 家族看護学	小児の心身の発達とその異常が理解できる。	基本的生活習慣、しつけ、遊び、心の発達、事故
10	7/6(月)	4	A20 講義室	・対面授業	小児の心と身体(2)	南前 恵子	母性・小児 家族看護学	小児の心身の発達とその異常が理解できる。	基本的生活習慣、しつけ、遊び、心の発達、事故
11	7/13(月)	4	A20 講義室	・対面授業	学童期の心と身体	花木 啓一	母性・小児 家族看護学	学童期の特徴と健康問題が理解できる。	身体発育、心理社会的発達、学校と家庭
12	7/13(月)	5	A20 講義室	・対面授業	人間発達と医療・小児疾病の特徴	花木 啓一	母性・小児 家族看護学	人間発達と医療、小児疾病について理解できる	人間発達論、小児疾病
13	7/20(月)	4	A20 講義室	・対面授業	老年期の身体と心(1)	片岡 英幸	成人・老人 看護学	老年期の身体的変化が理解できる。	加齢による身体的変化
14	7/27(月)	4	A20 講義室	・対面授業	成人期の健康問題	萩野 浩	基礎看護学	成人期の健康について理解できる	運動器の健康、骨量、ロコモティブシンドローム
15	8/3(月)	4	A20 講義室	・対面授業	老年期の身体と心(2)	片岡 英幸	成人・老人 看護学	高齢者の発達課題と多様性が理解できる。	高齢者の発達課題、生きてきた人生

教育グランドデザインとの関連:1、2、6、7

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

学位授与の方針との関連:1、4

授業のレベル:2

評価:レポート 100%

実務経験との関連: 胎児期から老年期の健康問題についての支援経験がある看護師・医師が、各自の専門分野に関する講義をする。

教科書:指定なし。プリントまたはPC/ビデオによる授業。

健康と生体情報

科目到達目標:人体の生理機能を理解する(神経系を除く)。

科目責任者(所属):二宮 治明(生体制御学)

連絡先:ninomiya@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業方法	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/23(木)	3			内分泌Ⅰ	二宮 治明	生体制御学	内分泌系の機能を理解する。	下垂体
2	4/30(木)	3			内分泌Ⅱ	二宮 治明	生体制御学	内分泌系の機能を理解する。	甲状腺、副腎
3	5/7(木)	3			内分泌Ⅲ	二宮 治明	生体制御学	内分泌系の機能を理解する。	膵臓
4	5/14(木)	3			消化Ⅰ	二宮 治明	生体制御学	消化器系の機能を理解する。	口腔、食道、胃
5	5/21(木)	3			消化Ⅱ	二宮 治明	生体制御学	消化器系の機能を理解する。	肝、胆、膵、小腸、大腸
6	6/4(木)	3			循環Ⅰ	二宮 治明	生体制御学	心血管系の機能を理解する。	血液循環、刺激伝達系
7	6/11(木)	3			循環Ⅱ	二宮 治明	生体制御学	心血管系の機能を理解する。	心周期、心拍出量、血管
8	6/18(木)	3			呼吸Ⅰ	二宮 治明	生体制御学	呼吸器系の機能を理解する。	気道、肺
9	6/25(木)	3	-	・パターン2遠隔授業(ビデオ付き オンデマンド学習)	呼吸Ⅱ	二宮 治明	生体制御学	呼吸器系の機能を理解する。	ガスの運搬
10	7/2(木)	3	A20 講義室	・対面授業	血液Ⅰ	二宮 治明	生体制御学	血液の機能を理解する。	赤血球
11	7/9(木)	3	A20 講義室	・対面授業	血液Ⅱ	二宮 治明	生体制御学	血液の機能を理解する。	白血球、血小板
12	7/16(木)	3	A20 講義室	・対面授業	腎臓Ⅰ	二宮 治明	生体制御学	腎臓の機能を理解する。	糸球体ろ過
13	7/30(木)	3	A20 講義室	・対面授業	腎臓Ⅱ	二宮 治明	生体制御学	腎臓の機能を理解する。	尿細管再吸収・分泌
14	8/6(木)	3	A20 講義室	・対面授業	体液	仲宗根 真恵	生体制御学	体液の機能を理解する。	水、電解質、酸塩基平衡
15	8/20(木)	3	A20 講義室	・対面授業	生殖器	仲宗根 真恵	生体制御学	生殖器の機能を理解する。	精巣、卵巣

教育ブランドデザインとの関連:2、5

学位授与の方針との関連:2

授業のレベル:1

評価:定期試験 100%

実務経験との関連:臨床医の経験を持つ基礎医学研究者がその経験を活かし、専門分野に関する講義を行う。

教科書:N教授の生理学講義ノート、二宮治明 著、日本医事新報社、2016年

参考書:人体の正常構造と機能 第3版、日本医事新報社、2017年

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください